



JCU CORPORATION

65期・2025年3月期 第1四半期決算説明資料

東証プライム 4975

2024年8月7日（水）

2025年3月期1Q 業績概況



【1Q 会計期間】 JCU（単体）⇒ 2024.4～2024.6
海外子会社 ⇒ 2024.1～2024.3

薬品事業

電子分野

- 中国はスマートフォンをはじめとする高機能電子デバイスの在庫調整が一巡したことでプリント基板の需要が回復基調となり、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加
- 台湾は半導体市場は回復の兆しが見られ、サーバー、高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が緩やかに拡大したため、薬品売上高は前年同期比で増加
- 韓国は半導体市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により半導体パッケージ基板の需要は緩やかな回復が見られ、薬品売上高は前年同期比で増加

装飾分野

- 国内は一部自動車メーカーによる出荷停止の影響を受け生産台数が減少したことに加え、デザイントレンドの変化に伴う薬品需要の低下もあり、薬品売上高は前年同期比で減少
- 中国は半導体・部材不足の緩和に伴い自動車の生産台数は増加したものの、当社が対象とする自動車部品の需要が低下したため、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移

装置事業

- 受注案件が予定通り進行したことで売上高は増加しましたが、大型案件の新規受注が減少したため受注高は減少

2025年3月期1Q 連結実績



(単位：百万円)

	前年同期 (2024年3月期1Q)	2025年3月期1Q	対前年増減率
売上高	5,225	5,912	13.1%
営業利益	1,379	1,995	44.7%
経常利益	1,383	2,237	61.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	944	1,508	59.7%
1株当たり 四半期純利益	36円85銭	59円55銭	—

為替レート



為替感応度（連結年換算）：下記主要通貨 1%の変動で、連結営業利益 1億円程度の影響

(単位：円)

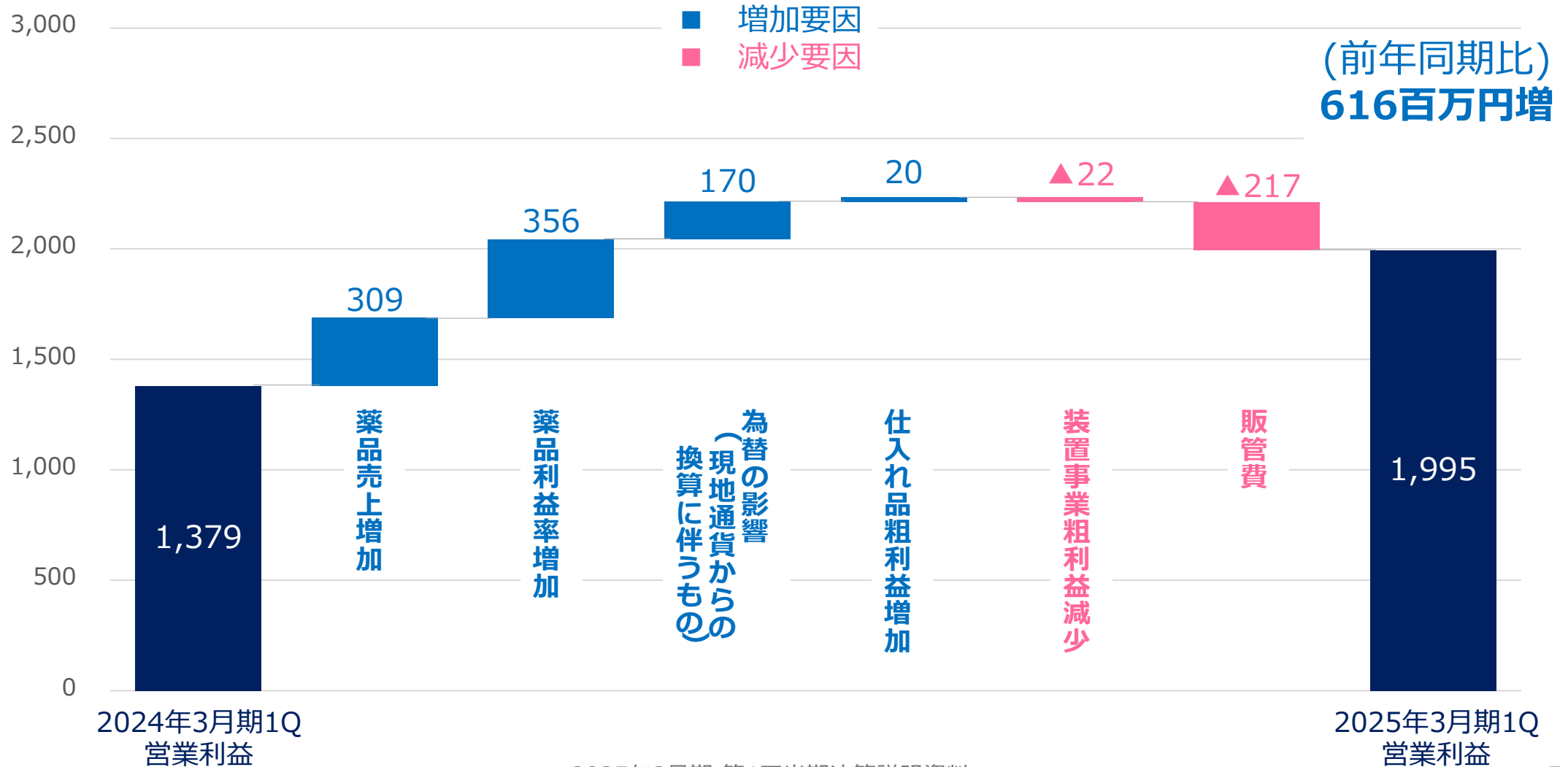
	2024年3月期				2025年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	(期首予想)	1Q
中国 人民元 (C N Y)	19.34	19.45	19.61	19.82	20.40	20.63
台 湾 ド ル (T W D)	4.36	4.42	4.47	4.51	4.60	4.73
韓 国 ウ オ ン (K R W)	0.1039	0.1042	0.1062	0.1076	0.1100	0.1117

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

2025年3月期1Q 連結営業利益 増減内容



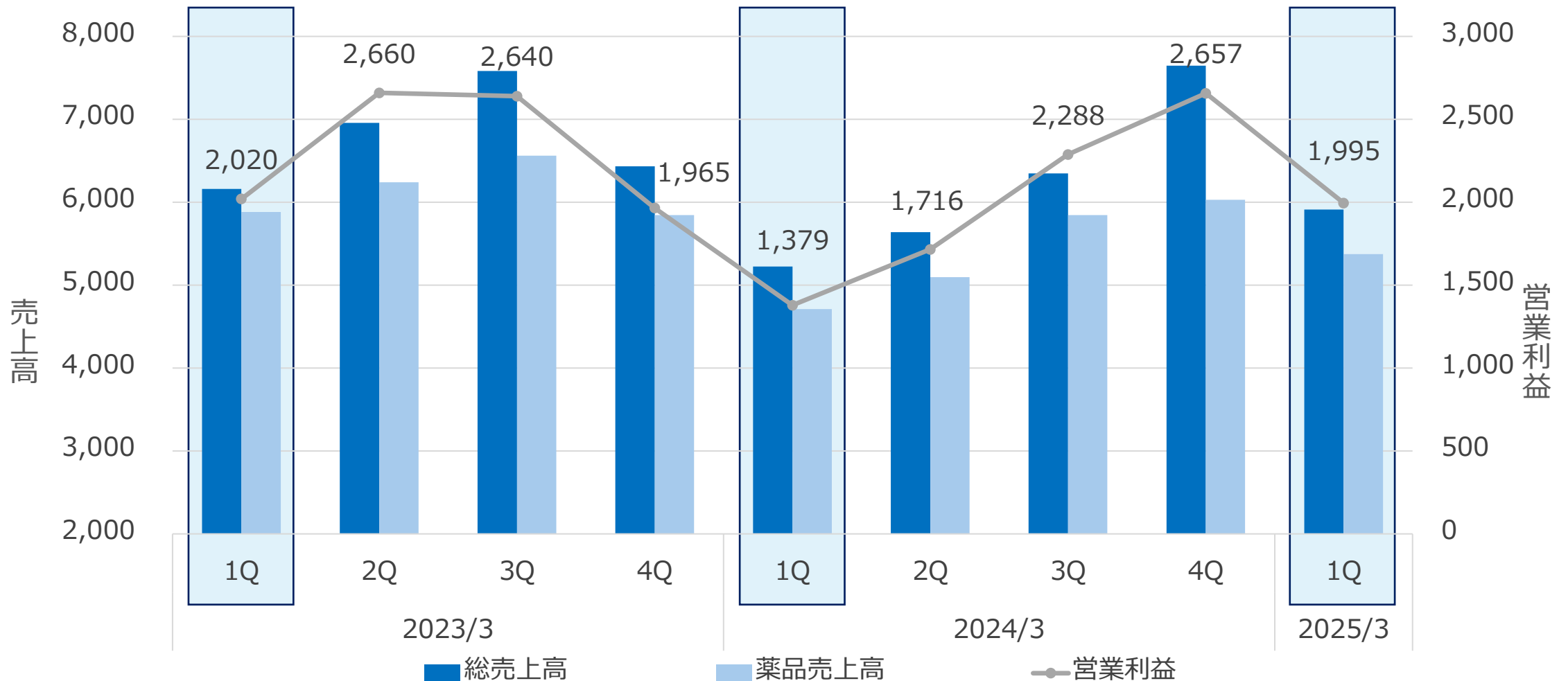
(単位：百万円)



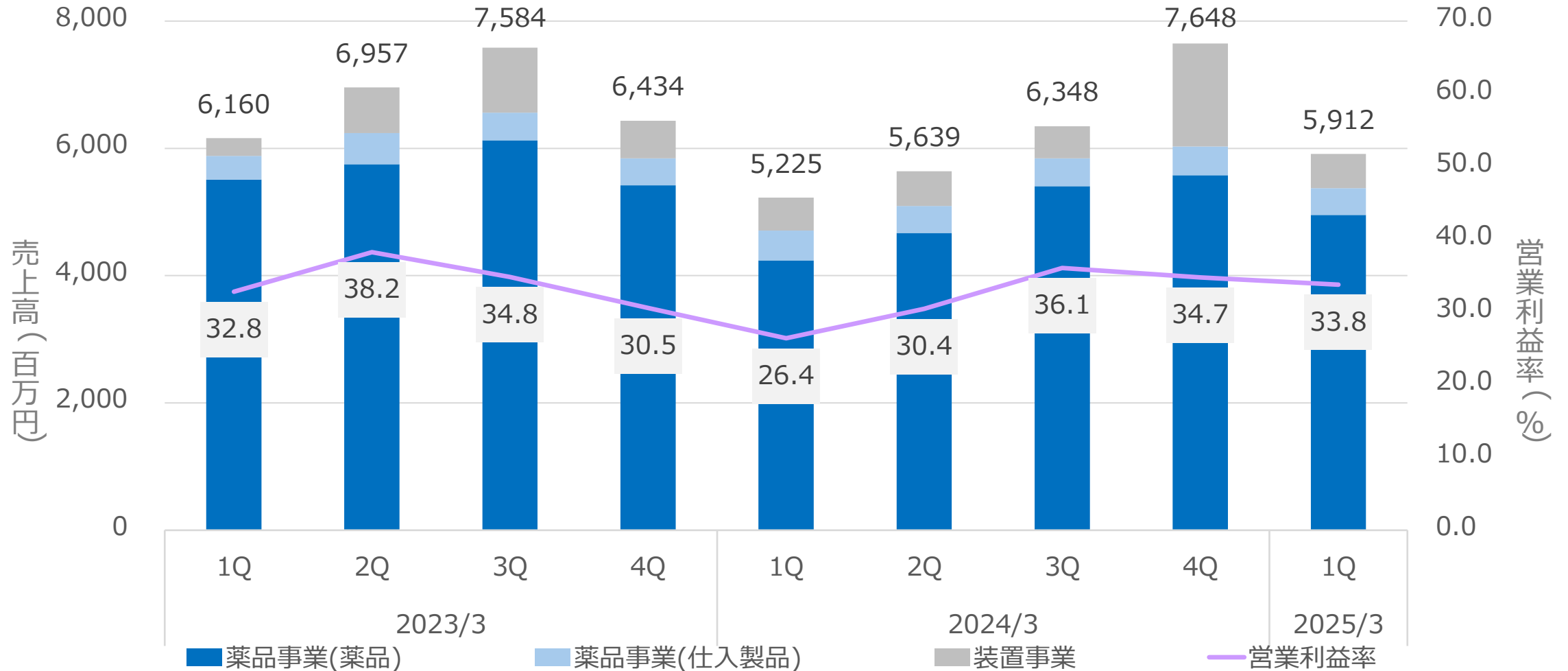
四半期別 連結実績の推移



(単位：百万円)



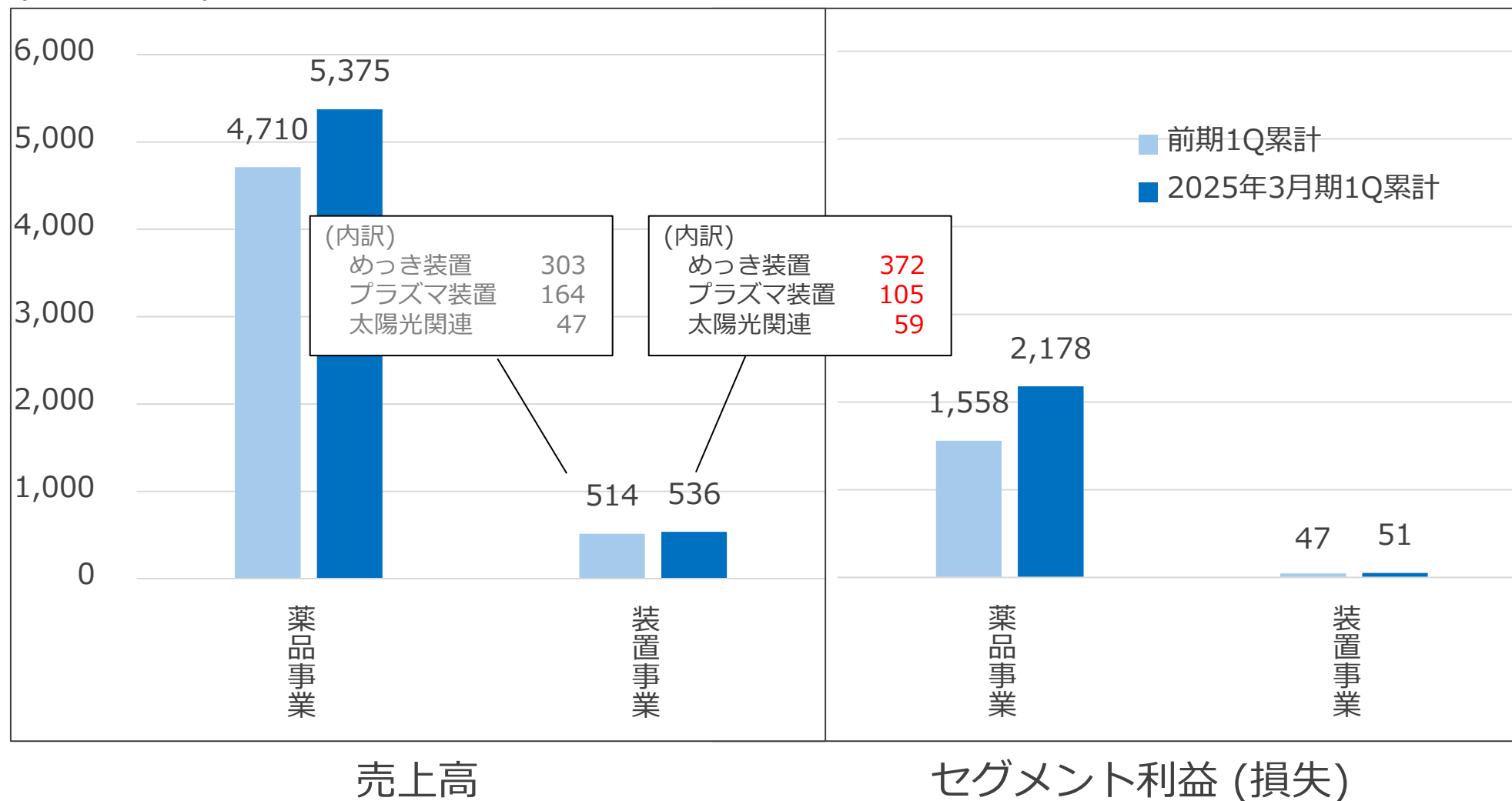
四半期別 連結業績の推移 (セグメント別)



2025年3月期1Q 連結セグメント業績



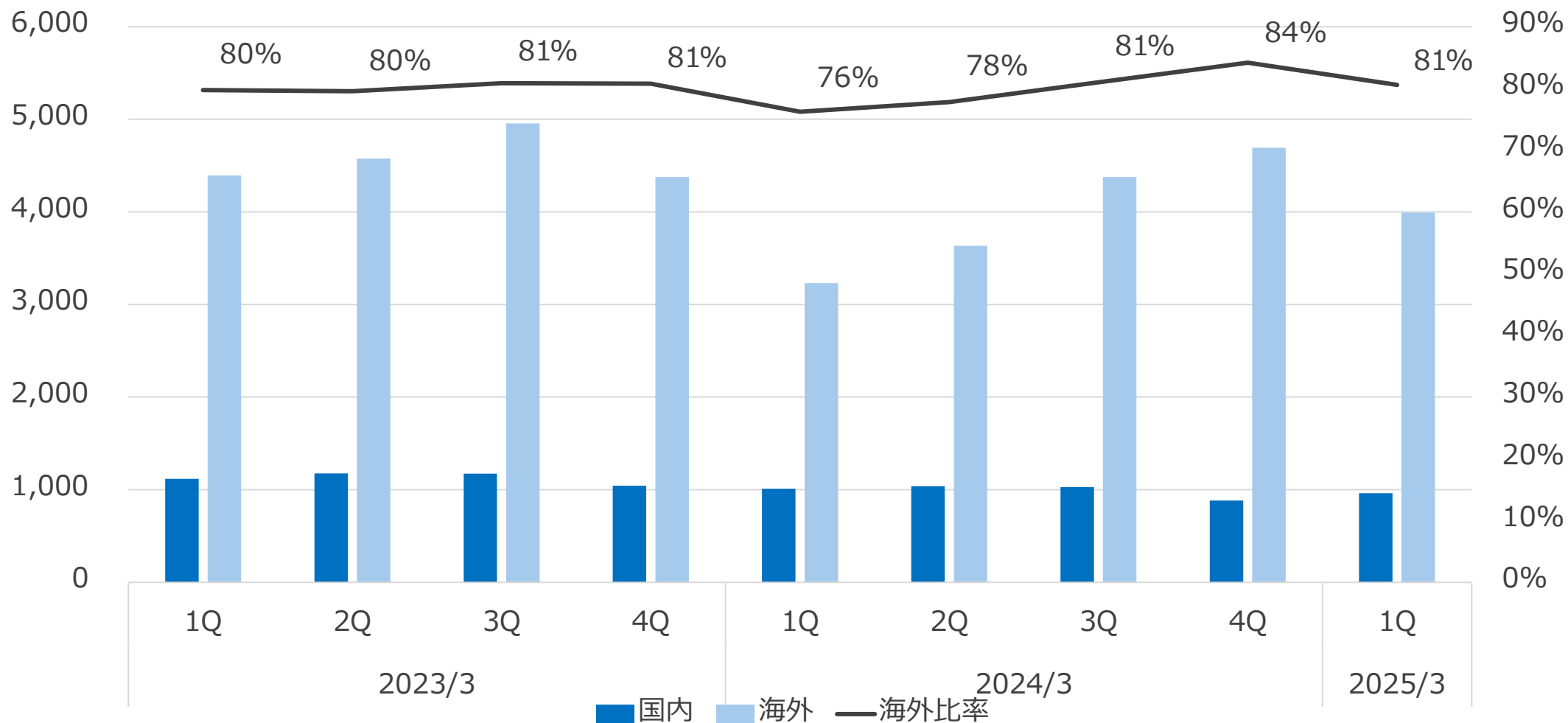
(単位：百万円)



四半期別 国内外薬品売上高推移



(単位：百万円)



POP, ビアフィリング, エッチング用薬品 | 四半期別 売上高推移

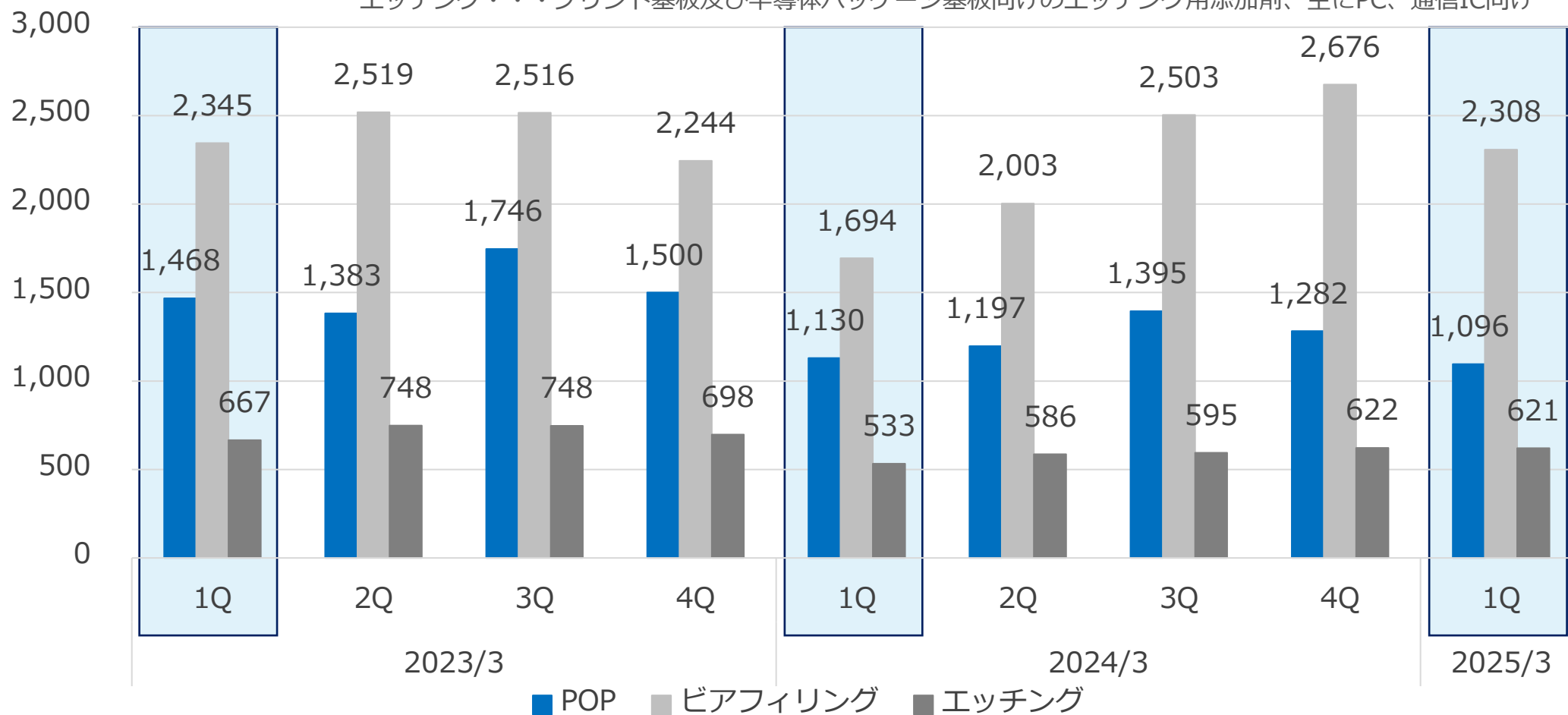


POP (Plating on Plastics)・・・プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け

ビアフィリング・・・プリント基板及び半導体パッケージ基板向けの銅めっき用添加剤、主にスマートフォン、PC向け

エッチング・・・プリント基板及び半導体パッケージ基板向けのエッチング用添加剤、主にPC、通信IC向け

(単位：百万円)

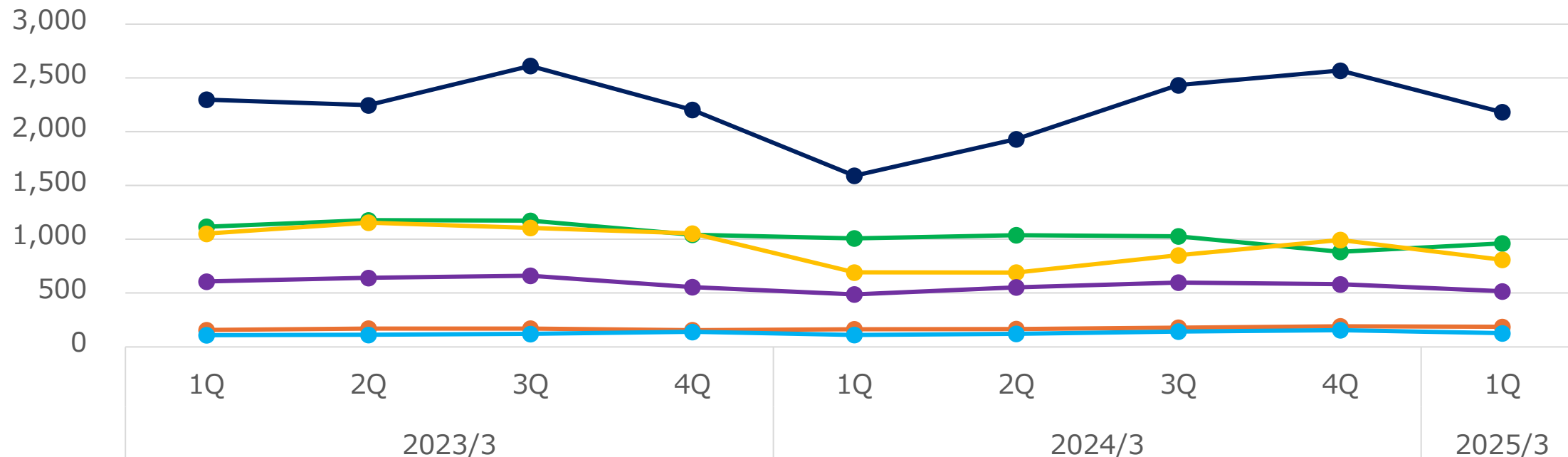


■ POP ■ ビアフィリング ■ エッチング

四半期別 地域別薬品売上高の推移



(単位：百万円)

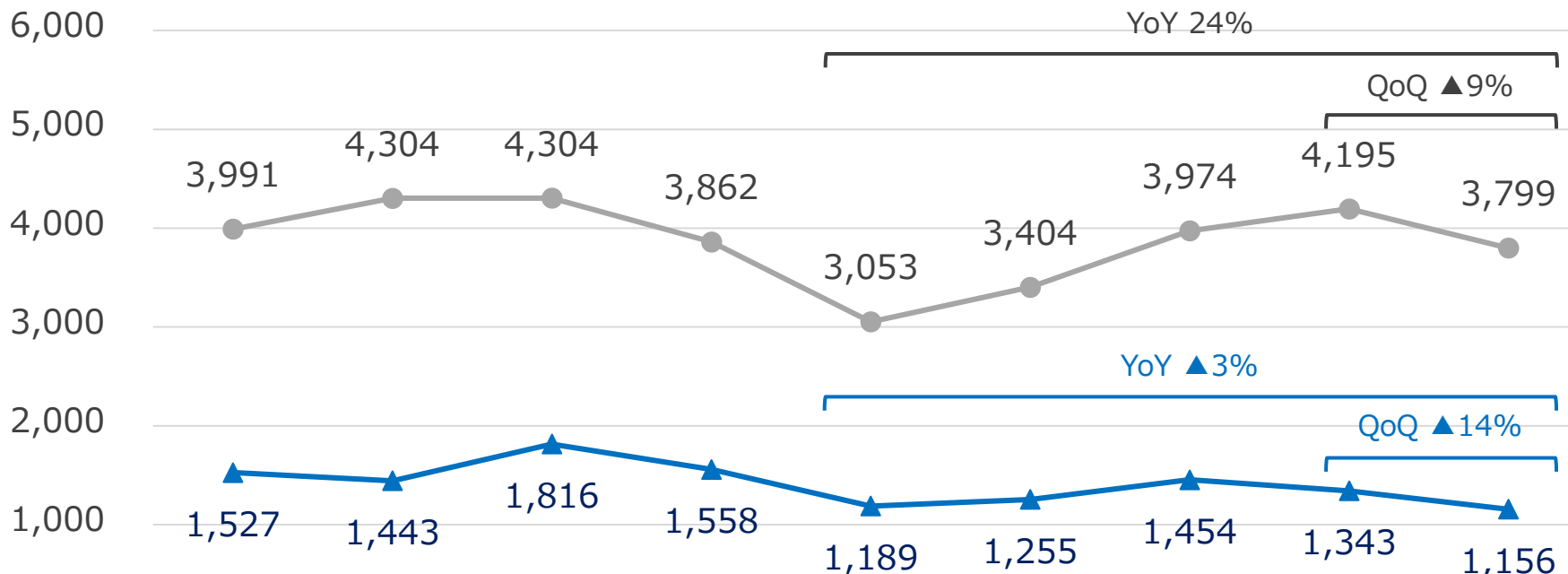


	2023/3				2024/3				2025/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
● 日本	1,117	1,177	1,173	1,043	1,009	1,038	1,028	884	962
● 中国	2,307	2,247	2,612	2,203	1,591	1,931	2,432	2,569	2,181
● 台湾	1,052	1,155	1,106	1,054	692	691	851	994	809
● 韓国	607	641	662	556	488	553	598	582	517
● タイ	156	170	170	155	164	166	179	191	186
● ベトナム	109	112	120	139	111	121	142	156	127

四半期別 地域別薬品売上高の推移

連結

(単位：百万円)



(電子薬品) 主力製品：ビアフィリング
プリント基板、コネクタ、
半導体分野向けの表面処理(めっき)薬品

(装飾・機能薬品) 主力製品：POP
装飾、防錆分野向けの薬品
主に自動車部品、水栓金具等の
表面処理(めっき)薬品

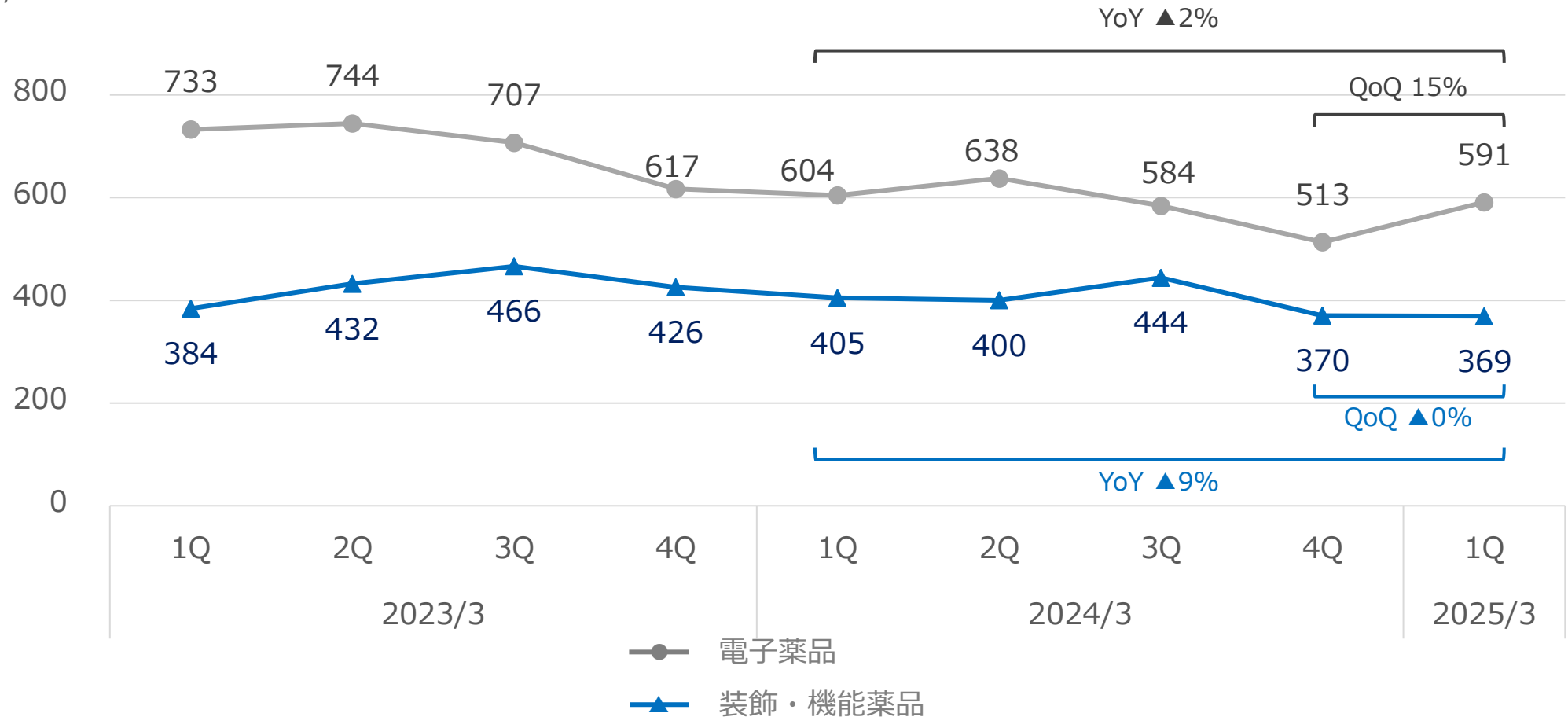
四半期別 地域別薬品売上高の推移



国内

(単位：百万円)

1,000

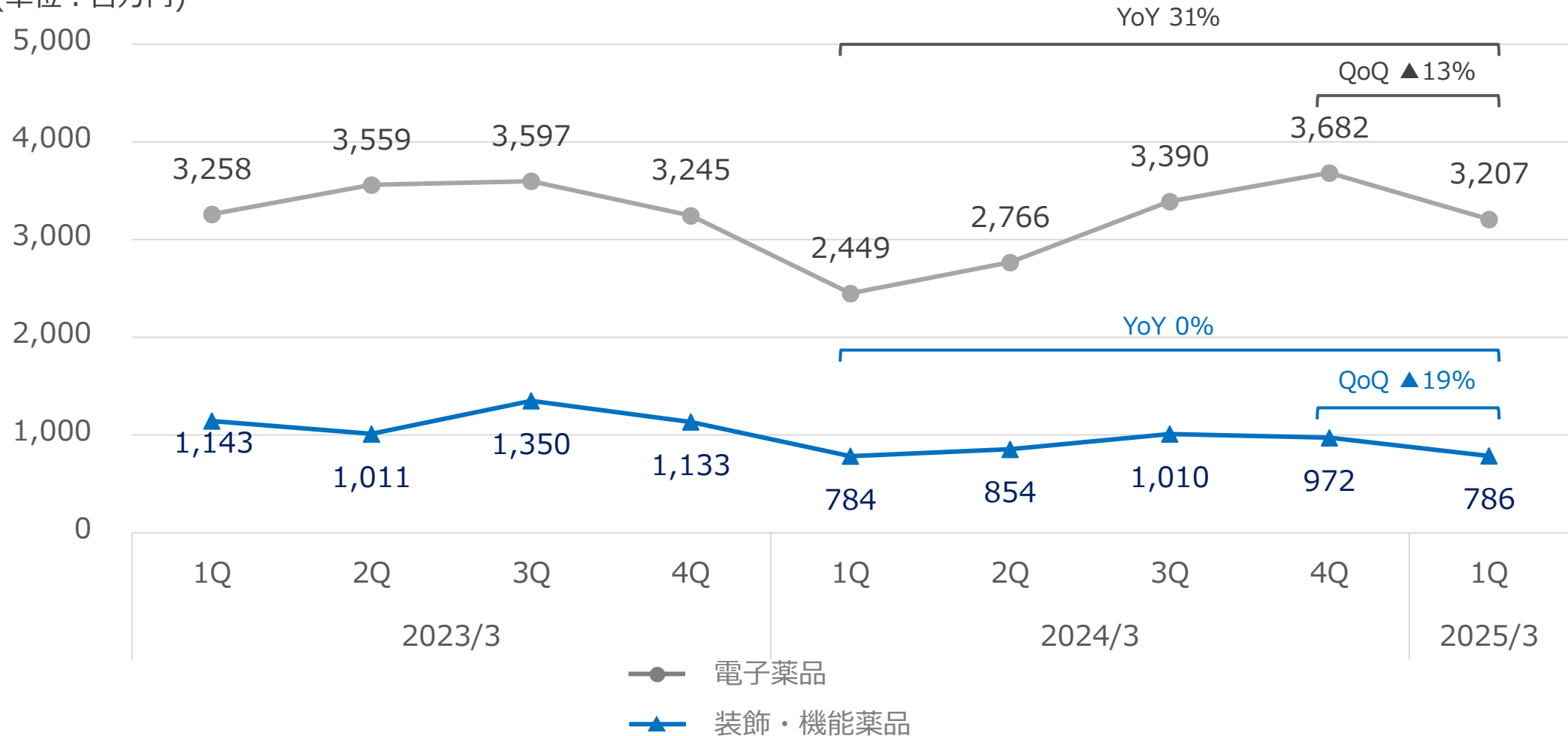


四半期別 地域別薬品売上高の推移



海外

(単位：百万円)

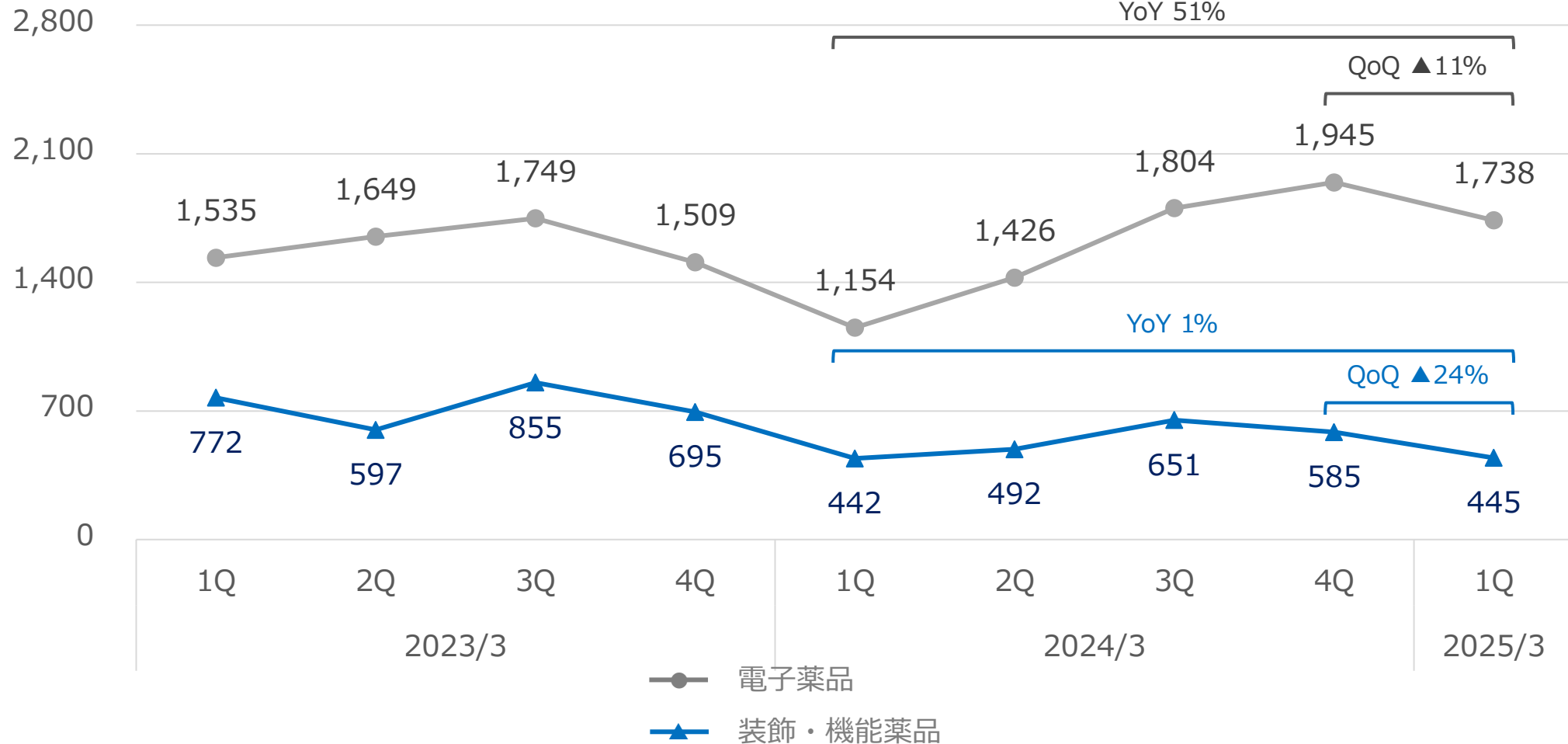


四半期別 地域別薬品売上高の推移



中国

(単位：百万円)

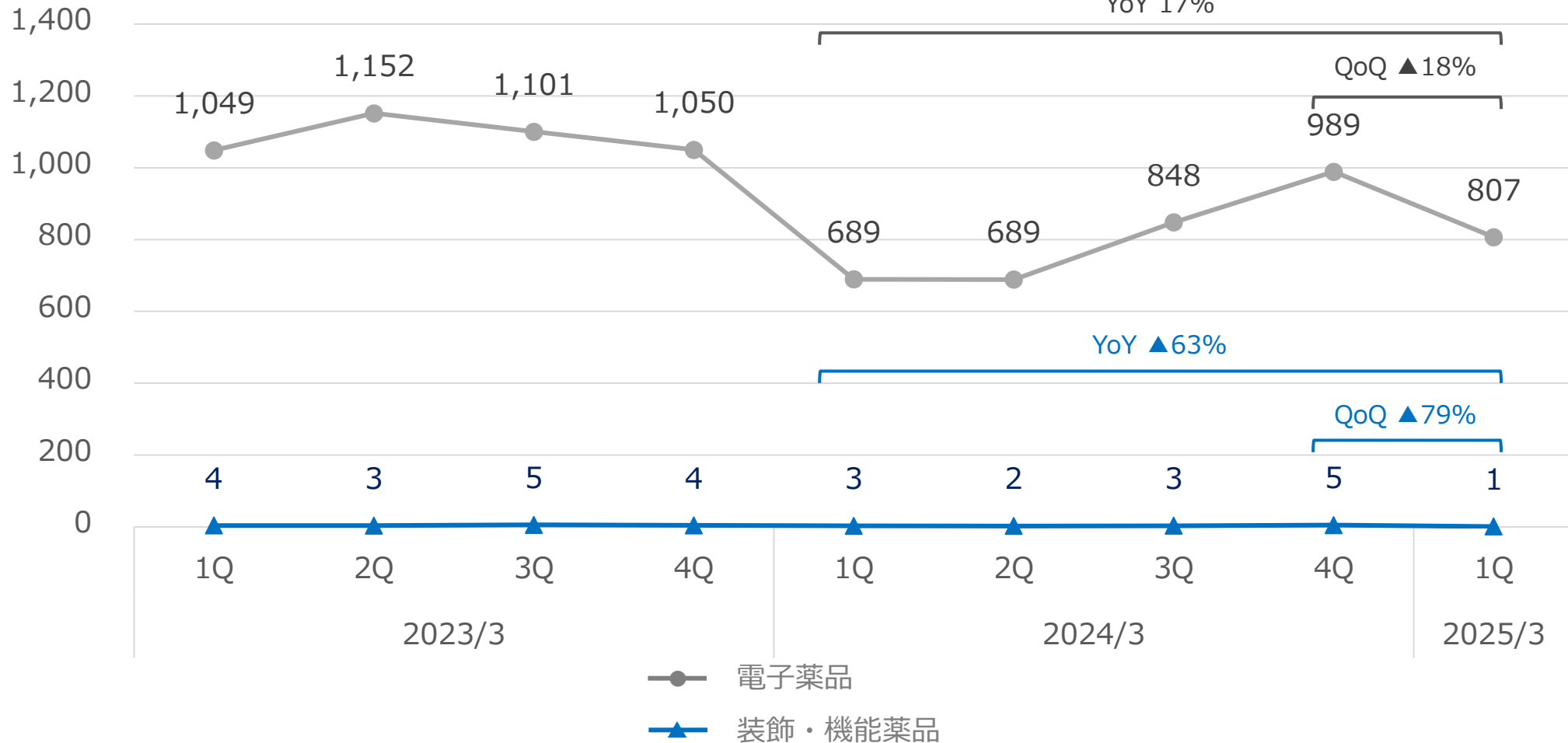


四半期別 地域別薬品売上高の推移



台湾

(単位：百万円)

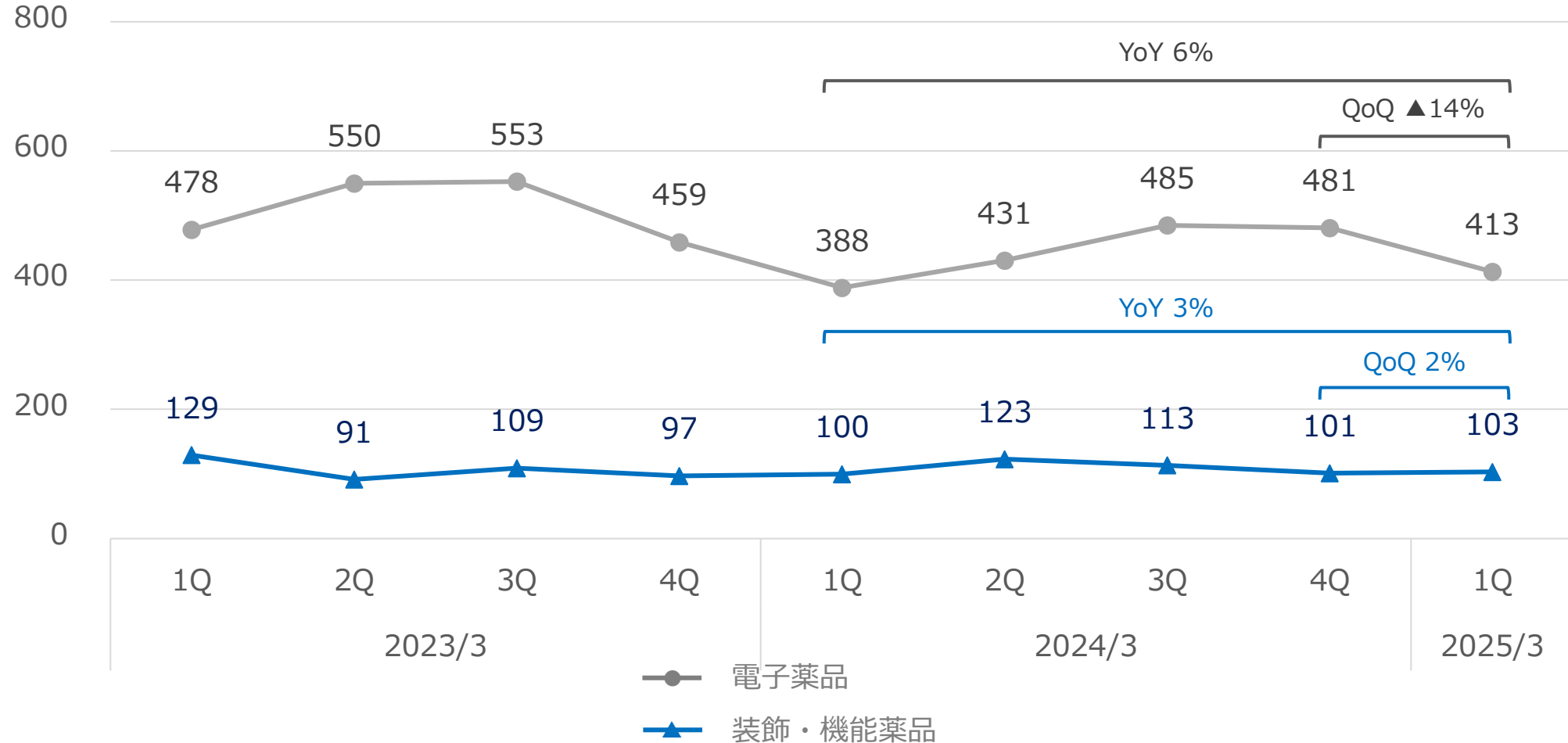


四半期別 地域別薬品売上高の推移



韓国

(単位：百万円)



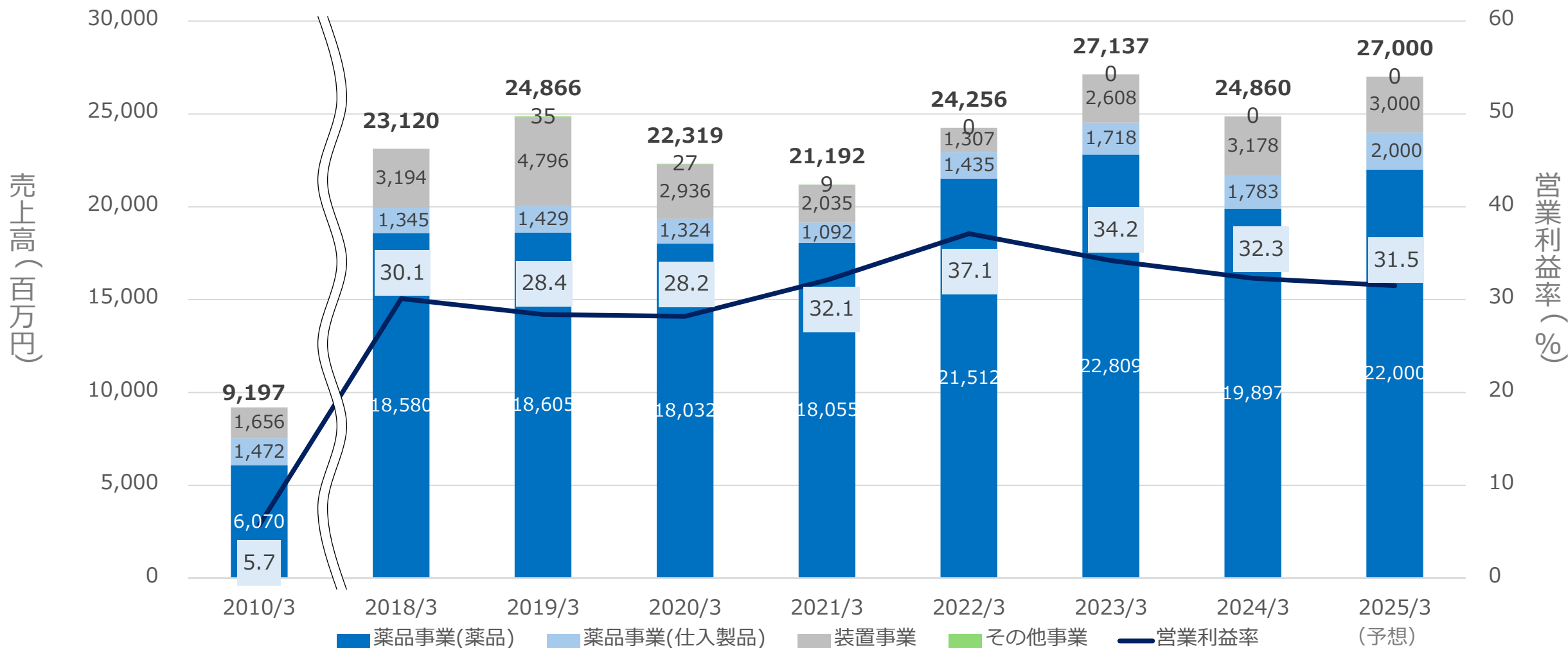
2025年3月期 業績予想



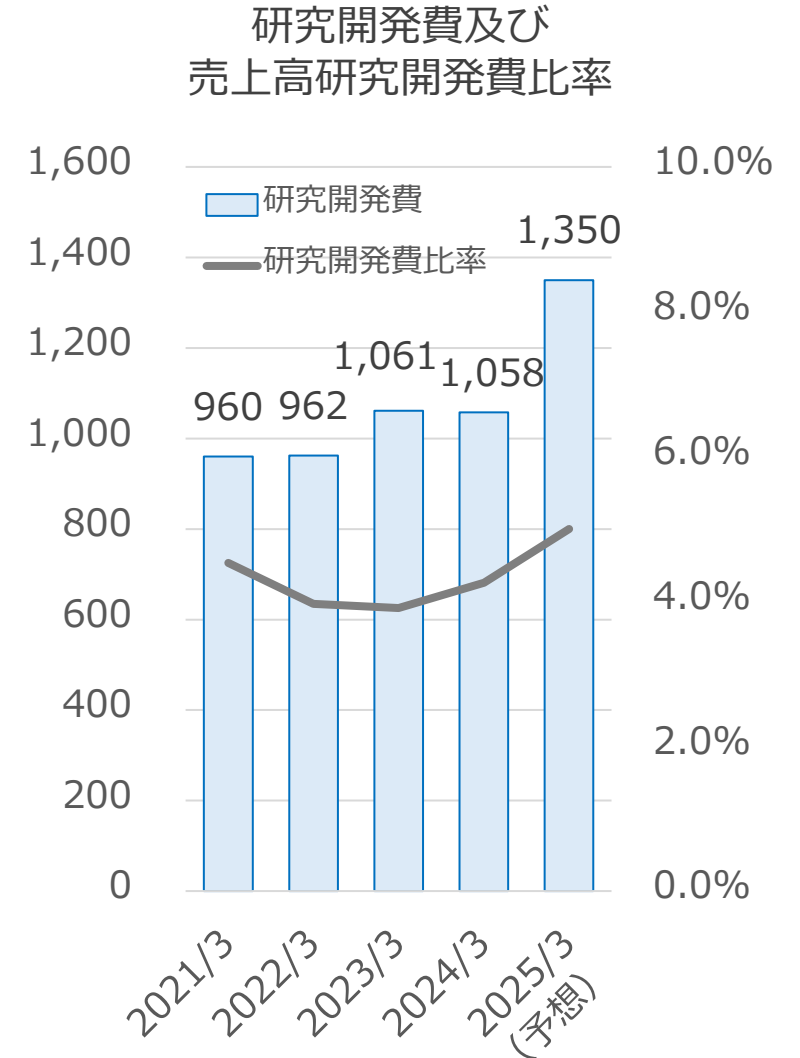
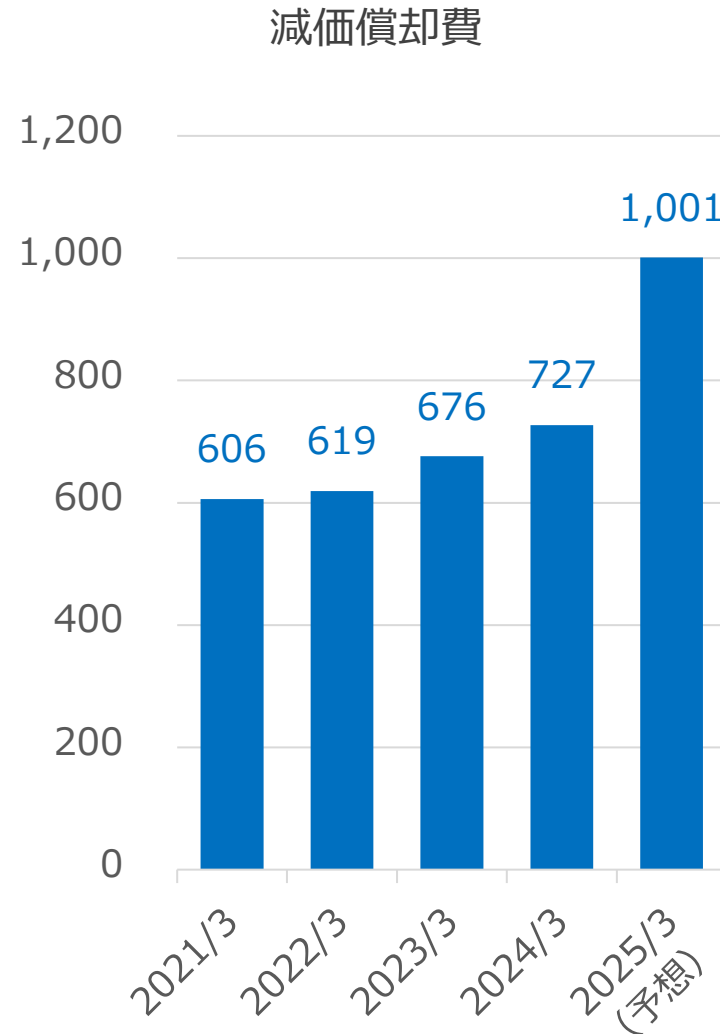
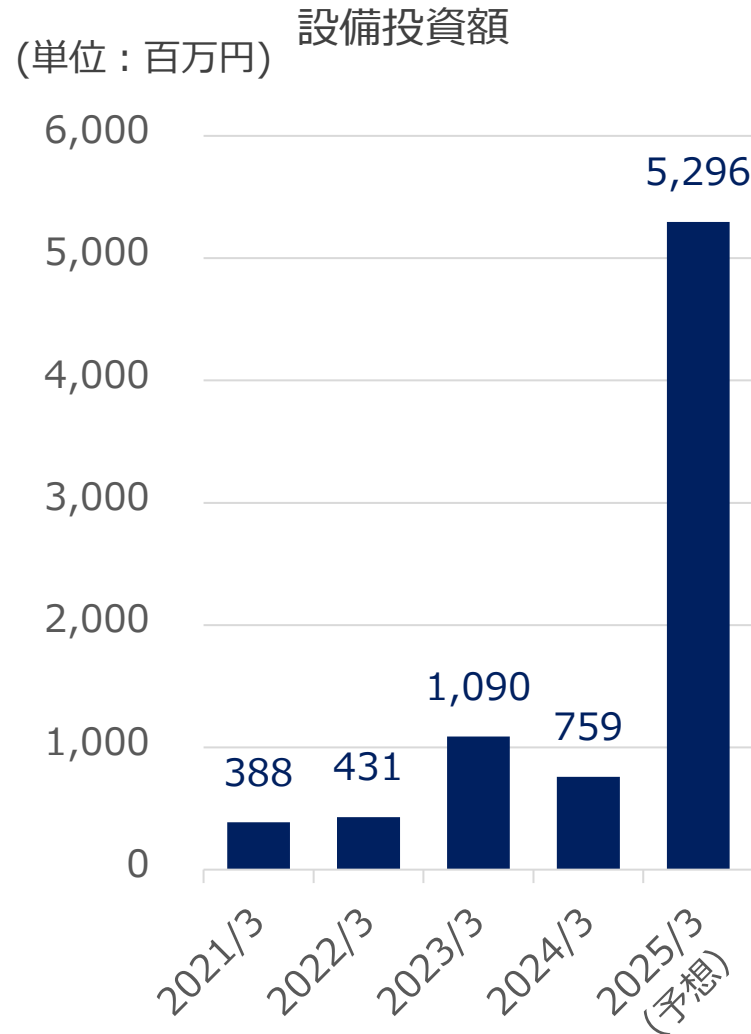
(単位：百万円)

2025年3月期	1Q (実績)	上半期 (予想)	通期 (予想)	通期予想に 対する進捗率
売上高	5,912	12,100	27,000	21.9%
営業利益	1,995	3,870	8,500	23.5%
経常利益	2,237	3,870	8,500	26.3%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,508	2,680	5,900	25.6%
1株当たり 四半期純利益	59円55銭	105円78銭	232円86銭	—

年度別セグメント別売上高推移（予想）



設備投資額、減価償却費及び研究開発費



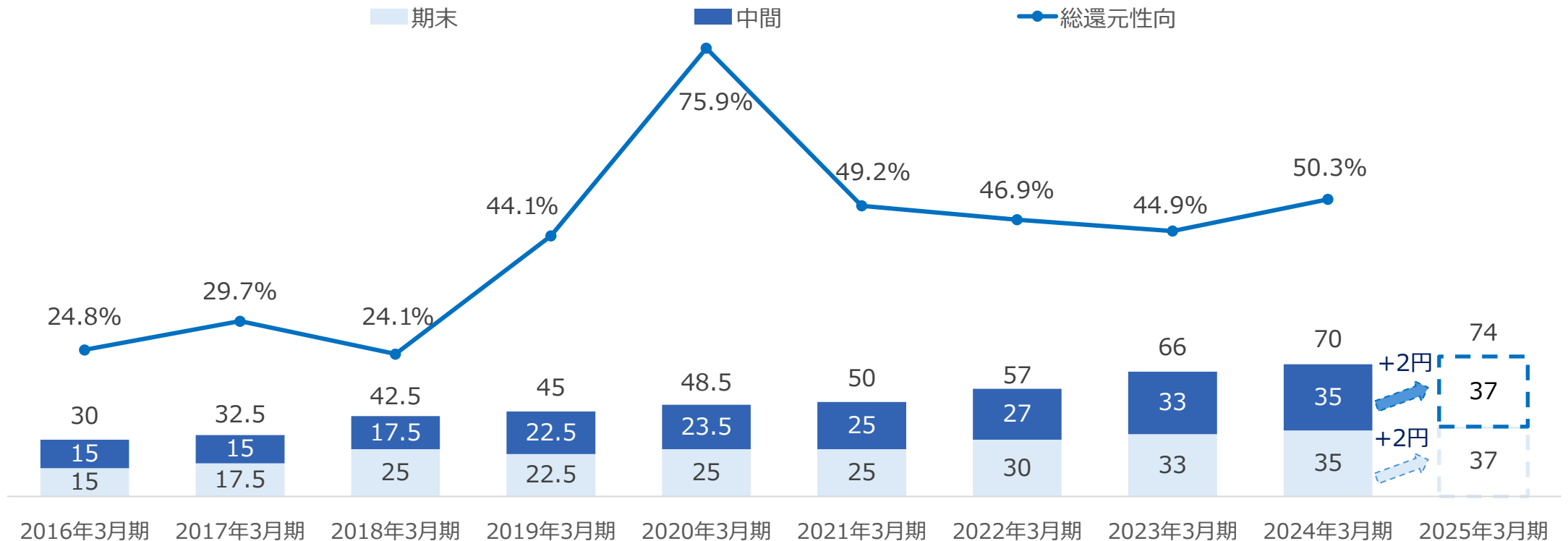
2025年3月期 資本政策



1株当たりの配当金
(予想)

中間配当金：37円
期末配当金：37円

15期連続増配予定



基本方針

- ・ 持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続
- ・ 配当は安定増配を継続
- ・ 総還元性向を50%を目安に機動的な自己株式の取得による株主還元の実施

ESGに関する取り組み



当社グループは、ESGに配慮した課題に事業活動を通じて取り組み、持続可能な成長を続けるグローバル企業を目指してまいります。

Environment



環境配慮型製品の開発

- クロム酸フリーエッチングプロセス
- 低環境負荷化学ニッケルめっきプロセス
- 低環境負荷装飾用硫酸銅めっきプロセス



CO₂排出量 (単体)

1,005 t-CO₂ 【2024年3月期末】
※2013年度比 30.6%削減



ESG外部評価

CDP気候変動2023 : B評価に認定



Social



女性管理職比率 (単体)

11.6% 【2024年3月期末】



国内外拠点のISO9001取得状況

7か国12拠点 【2024年3月期末】
※日本、中国、台湾、韓国、タイ
ベトナム、メキシコ

Governance



企業統治の体制

- 取締役
社内 : 6名、社外 : 3名 (内、女性1名)
- 監査役
常勤 : 1名、社外 : 2名 (内、女性1名)

- 会社概要
- 今後必要とされる表面処理技術
- 主な商流
- 主な製品
- 薬品用途説明 最終製品例

会社概要



創 業	:	1957年 12月
設 立	:	1968年 4月 1日
資 本 金	:	12億6,692万円
年 商	:	単体 138億円 連結 248億円 (2024年3月期)
本社所在地	:	東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
業務内容	:	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	:	代表取締役会長兼CEO 木村 昌志 代表取締役社長兼COO 大森 晃久
従業員数	:	単体 235名 連結 538名 (2024年3月31日現在)

ISO認証取得

ISO9001	生産本部・本社営業部・総合研究所	JCQA-0281
ISO14001	生産本部・総合研究所	JCQA-E-0143

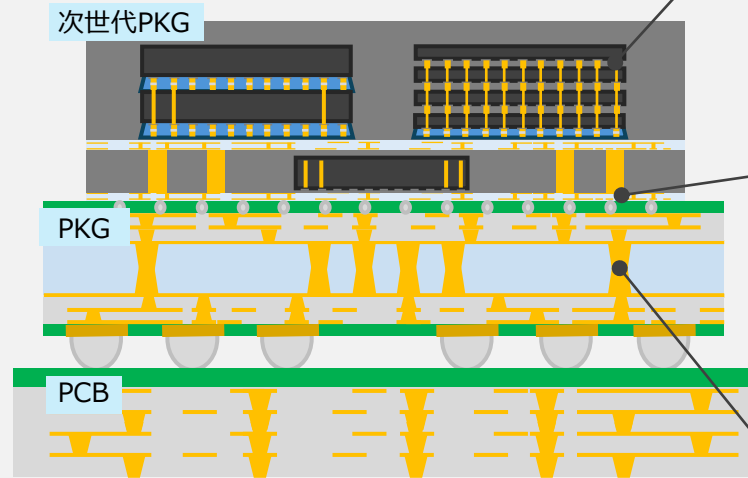
今後必要とされる表面処理技術 - 電子分野 -

ターゲット

AIアクセラレータ、データセンタ、高機能電子デバイスなどの次世代PKG基板

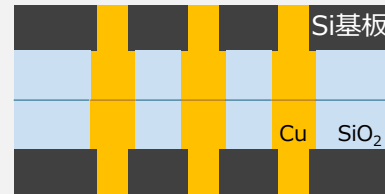
必要とされる表面処理技術

2.xD/3Dパッケージ



- ・高機能化に伴い多様化するパッケージ技術
- ・高密度実装による基板サイズの大型化
- ・チップ間配線距離の短縮

ハイブリッド接合



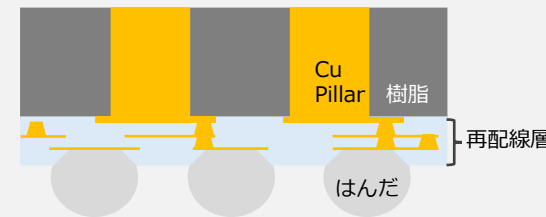
○想定されるターゲット

メモリー

○表面処理技術に要求される性能

接続信頼性の向上
優れた電気特性

RDL (再配線)



○想定されるターゲット

FO-WLP / PLP
RDLインターポーザ

○表面処理技術に要求される性能

面内均一性の向上
薄膜埋まり性向上

TGV (ガラス貫通電極)



○想定されるターゲット

ガラスコアサブストレータ (FC-BGA)
ガラスインターポーザ

○表面処理技術に要求される性能

ボイド (空隙) フリー
薄膜埋まり性向上

今後必要とされる表面処理技術 – 装飾・機能分野 –

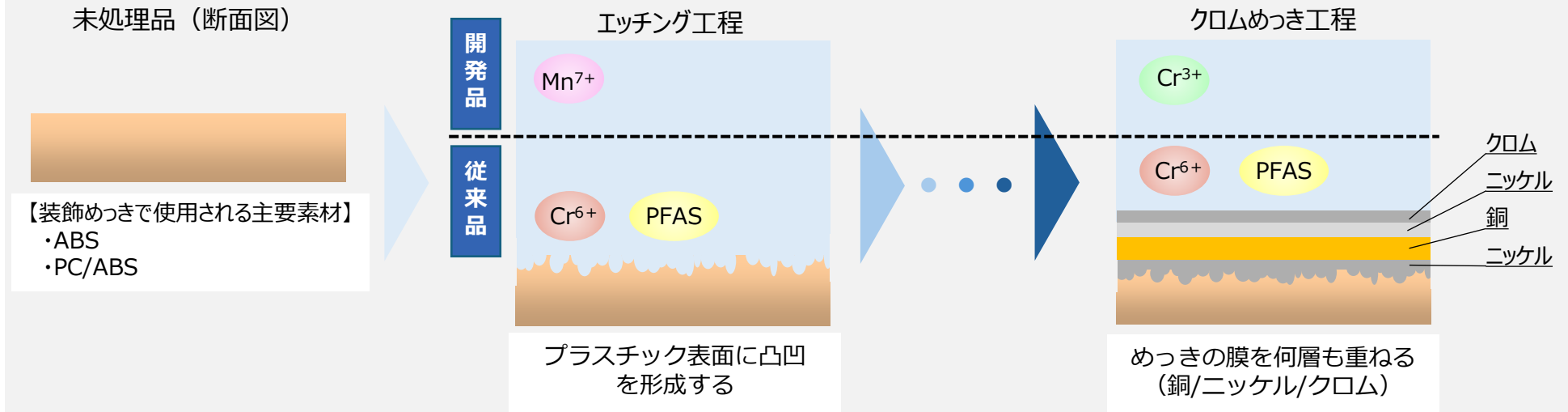
ターゲット

自動車部品（フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等）、
水栓部品（シャワーヘッド、排水栓等）

必要とされる表面処理技術

環境に配慮した表面処理技術

6価クロムフリー、PFASフリーのめっき技術



○従来プロセス

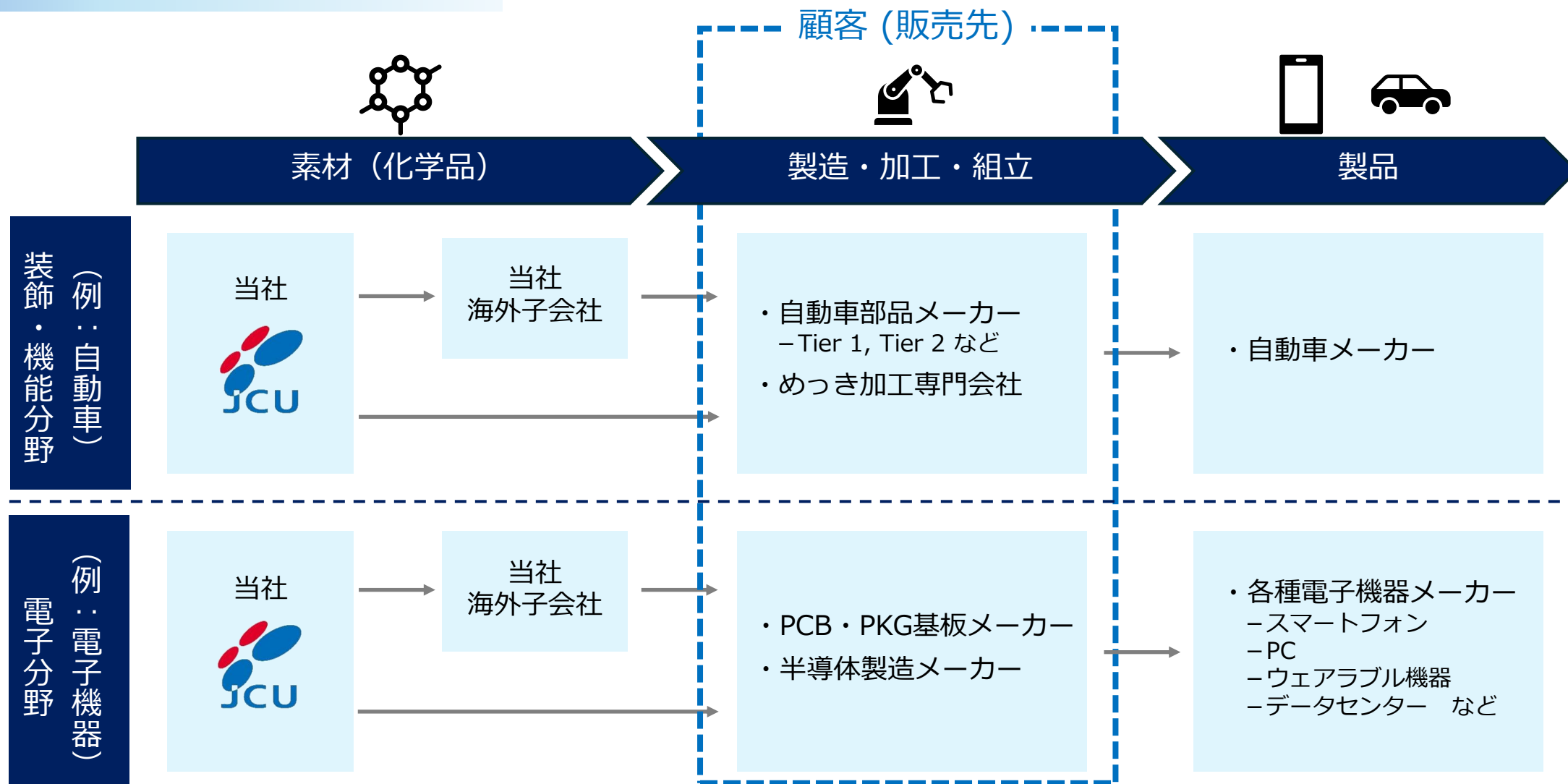
プラスチック上への装飾めっきでは、最初と最後の工程で環境負荷物質である“6価クロム”や“PFAS”が使用されている

○JCUが提案する新環境対応プロセス

工程内から6価クロムやPFASを排除した環境負荷低減のトータルプロセスを提案



主な商流



主な製品



薬品事業	装飾・機能分野	自動車部品（フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等） 水栓金具（給水機器、シャワーヘッド、排水栓等） 建築部品（ボルト、ナット等）
	電子分野	プリント基板（両面板、多層板、ビルドアップ基板、パッケージ基板等） 電子部品（リードフレーム、チップ部品、コネクタ等） 半導体（シリコンウエハー）
装置事業	全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置
	付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器の製造販売
	自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置
	プラズマ装置	プリント基板のめっき前処理用等の洗浄処理装置

薬品用途説明 最終製品例



用語説明		最終製品
装飾・機能薬品	装飾・機能分野向け、金属外観の付与、サビ防止などの機能性付与のための表面処理(めっき)薬品。	自動車部品、水栓金具、建築部品
POP薬品 (Plating on Plastics)	装飾・機能分野向け薬品の主力製品 プラスチック上へ金属膜をめっきするための薬品 	(自動車部品) フロントグリル、エンブレム など (水栓金具) シャワーヘッド、水栓コック など
その他基幹薬品	銅・鉄鋼などの金属素材へ金属膜をめっきするための薬品	(建築部品) ネジ、蝶番 など
電子薬品	電子信号を流すための回路、電子部品の電気接点など プリント配線板を製造するためのめっき薬品	5G関連部品、データセンター等のインフラ、 高機能電子デバイス
ビアフィル薬品 (プリント基板/マザーボード向け)	電子製品に内蔵される プリント基板/マザーボードに 配線を形成するための銅めっき薬品 	(5G関連部品) 5G基地局、車載基板、スマート家電 など
ビアフィル薬品 (半導体パッケージ(PKG)基板向け)	半導体チップを外部環境から保護し、 プリント基板に実装するための 基板(半導体PKG基板)に、配線を 形成するための銅めっき薬品 	(データセンター等のインフラ) 通信サーバー向けマザーボード など (高機能電子デバイス) スマートフォン、PC、タブレット、 ゲーム機器 など
その他電子薬品	マザーボード、または半導体PKG基板に配線を形成する際、 不要な銅を削るためのエッチング薬品 コネクタ、リードフレーム用のめっき薬品など	

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

当社ホームページ：
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室
Email： ir2@jcu-i.com
TEL： 03-6895-7004